

【新型コロナウイルス感染防止対策について（各団・大会当日用）】

埼玉県スポーツ少年団バスケットボール部会

各団（チーム）は、大会当日に下記の感染防止対策を行います。

[大会全般]

- 大会会場においては、必ずマスク（品質の確かな、できれば不織布）を着用します。
- 感染拡大防止の観点から、令和4年度の大会は、原則として無観客試合とします。
- 試合は、原則として午前または午後に分けて行います。
- 飲食については、間隔（2mを目安、最低1m）を空けて対面を避け、黙食とします。
- 各団（チーム）は、選手（15名以内）、指導者（3名以内）、マネージャー（1名）、引率保護者のみとし、原則25名以内です。
- 各団（チーム）は「大会参加者一覧表」「健康確認表（個表）」（団員用、指導者用、役員・スタッフ用、保護者用）を大会本部または会場責任者へ提出します。
- 各団（チーム）は、手指消毒液・ポンプ式石鹸・ペーパータオル等を準備します。
- 大会終了後2週間以内に、感染者が確認された場合は、大会本部または会場責任者へ連絡します。

[会場・ベンチ]

- 手指消毒液および椅子等の消毒液・ペーパータオル等を持参します。
- ベンチの椅子は、間隔（2mを目安、最低1m）を空けます。前後で配置するなど工夫します。
- TO席もなるべく間隔を空けます。
- 出場選手以外は、マスクを着用します。
- 試合前・試合後に相手チームや審判との握手はしない。
- 相手チームベンチに挨拶はしない。
- 円陣はしない。
- ハイタッチはしない。
- ボトル・タオルは共用しない。
- 出場選手は、クォーターごとに手指消毒液を使用します。
- 応援は拍手を活用し、声を出しての応援はしない。指導者も同様とします。
- 試合終了後、出場チームはベンチ等を消毒します。

[更衣室・トイレ]

- 換気（窓開け、換気扇）を徹底します。
- トイレのフタは閉めて流すようにします。
- 手洗いを必ずします。（ポンプ式石鹸を活用）

[帯同審判]

- 飲み物は、各自で用意します。
- 審判は、飛沫防止策として、ホイッスルカバーまたは電子ホイッスルを使用します。

[ゴミの処分]

- 出場チームから出されたごみは、必ず持ち帰ります。